

2015年8月18日(火)

報道関係者各位

サッカー一部所属学生の就職活動状況(2015年7月現在)

株式会社アスリートプランニング

株式会社アスリートプランニング(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:山崎秀人)は、今年度より就職活動時期が変更となったことを受け、サッカー部に所属する学生の就職活動状況を明らかにするため、関東大学サッカー連盟と共同で調査を行いました。

<調査概要>

調査対象: 関東大学サッカー連盟所属 関東大学サッカーリーグ戦参加 24大学の2016卒学生

有効回答数: 72

調査方法: Web アンケート

調査期間: 2015年8月1日~10日

<調査項目>

- 就職活動状況
- 内定の有無/社数
- 選考中の企業数
- 就職活動を終えたい時期
- 現在、困っていること

<本資料について>

本資料に掲載のデータ、図版等の利用やご質問等に関しては、下記までご連絡ください。

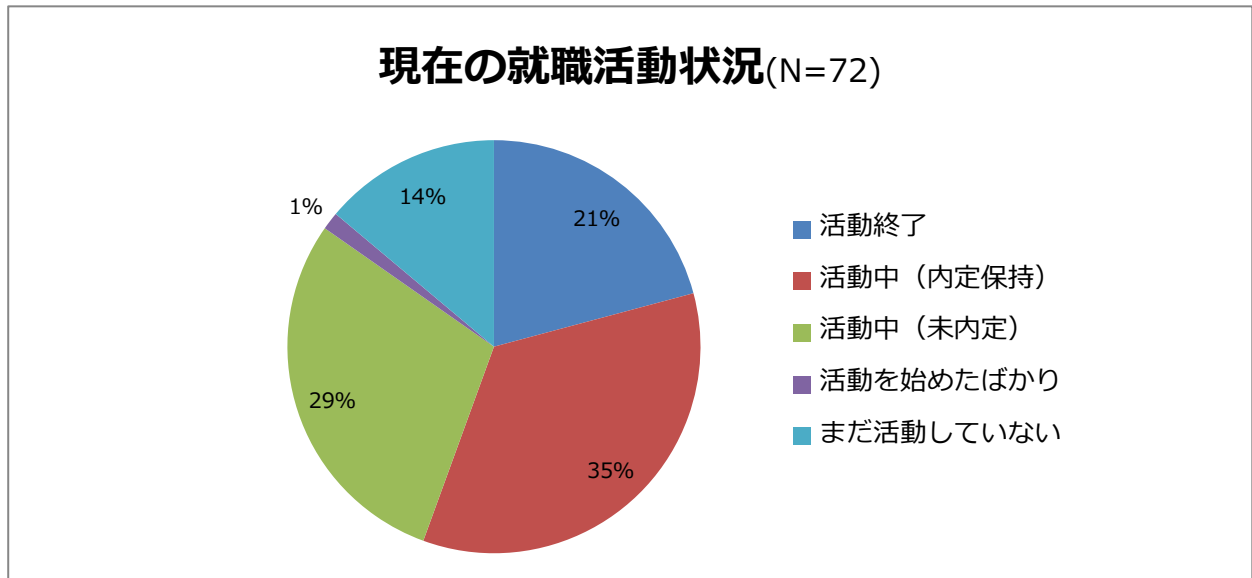
<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社アスリートプランニング 広報室 太田 浩之

Tel: 03-5937-8460 Mail: ohta@athlete-p.co.jp

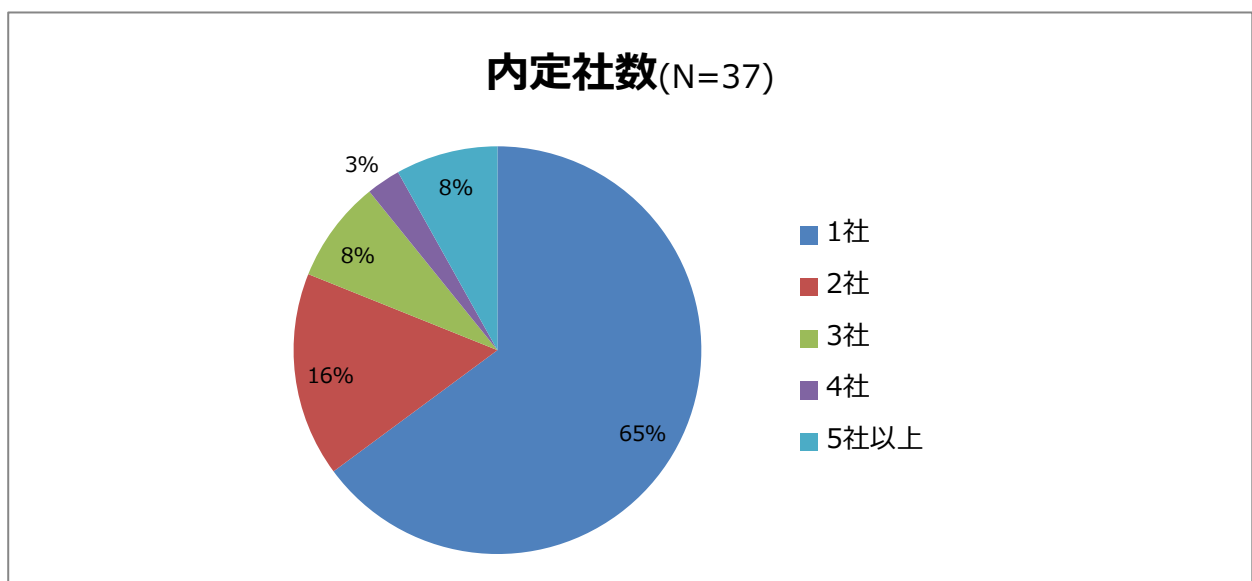
1.半数以上が内定保持、21%が活動終了

現在の就職活動状況を尋ねたところ、56%の学生が内定を保持していることが分かりました。うち、21%は内定を承諾し、活動を終了しております。同時期に実施した体育会学生全体のデータ(63%)と比較すると、やや低い内定率となっております。また、活動を終了した学生の割合も全体の32%と比べると低く、部活動に打ち込んでいる学生が多く就職活動に十分な時間を使えていないことが考えられます。



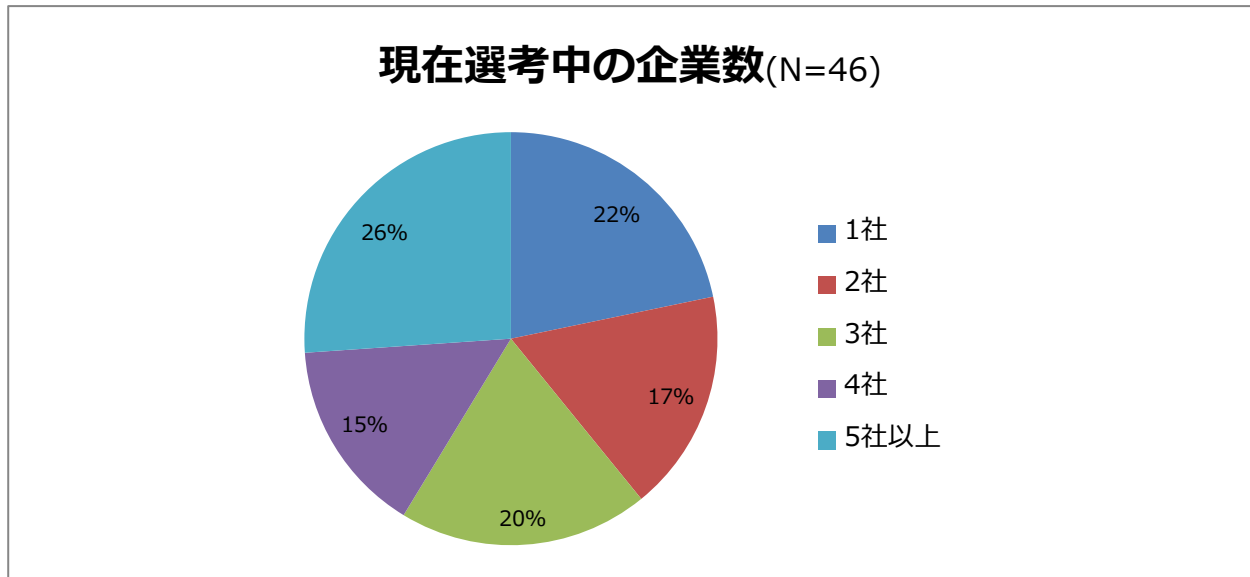
2.内定社数は「1社」が65%で大半を占める

内定を持っている学生に社数を尋ねたところ、65%の学生が「1社」と回答しています。8月は総理大臣杯などの試合や合宿で就職活動ができないケースが多いため、その前に1つは内定を取っておきたいと考える学生が多いようです。



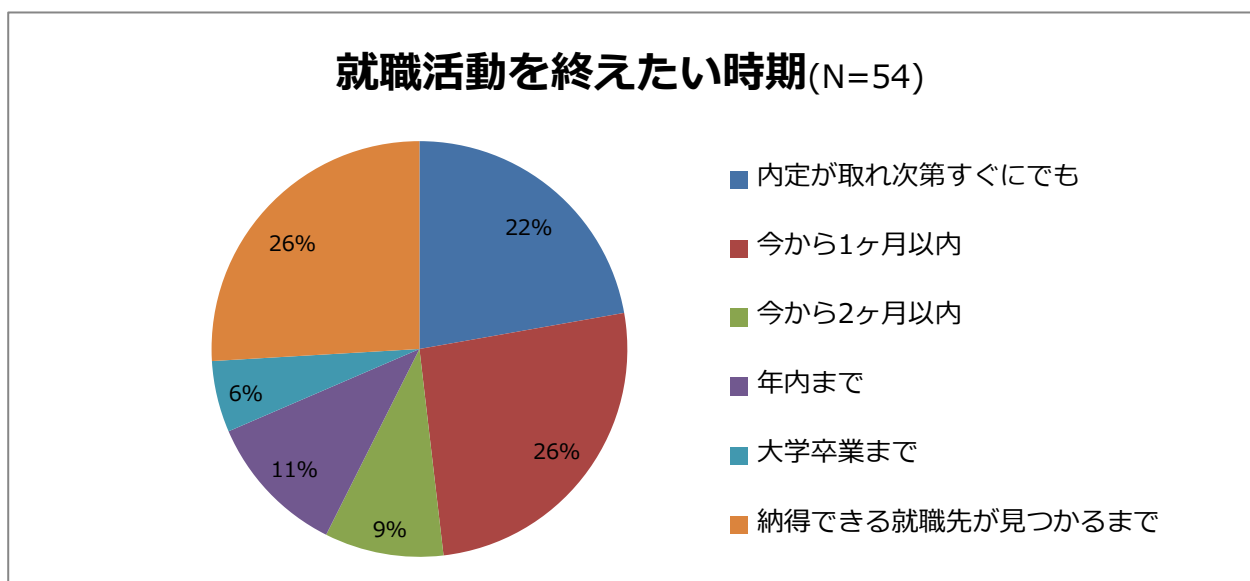
3.選考中の企業数は「5社以上」がトップであるものの、全体とは差

就職活動中の学生に選考中の企業数を尋ねたところ、「5社以上」が最も多い回答となりました。積極的に活動している学生がいるものの、体育会学生全体のデータ(42%)と比較すると、その割合が低いことから、活動量の差が浮き彫りになっています。



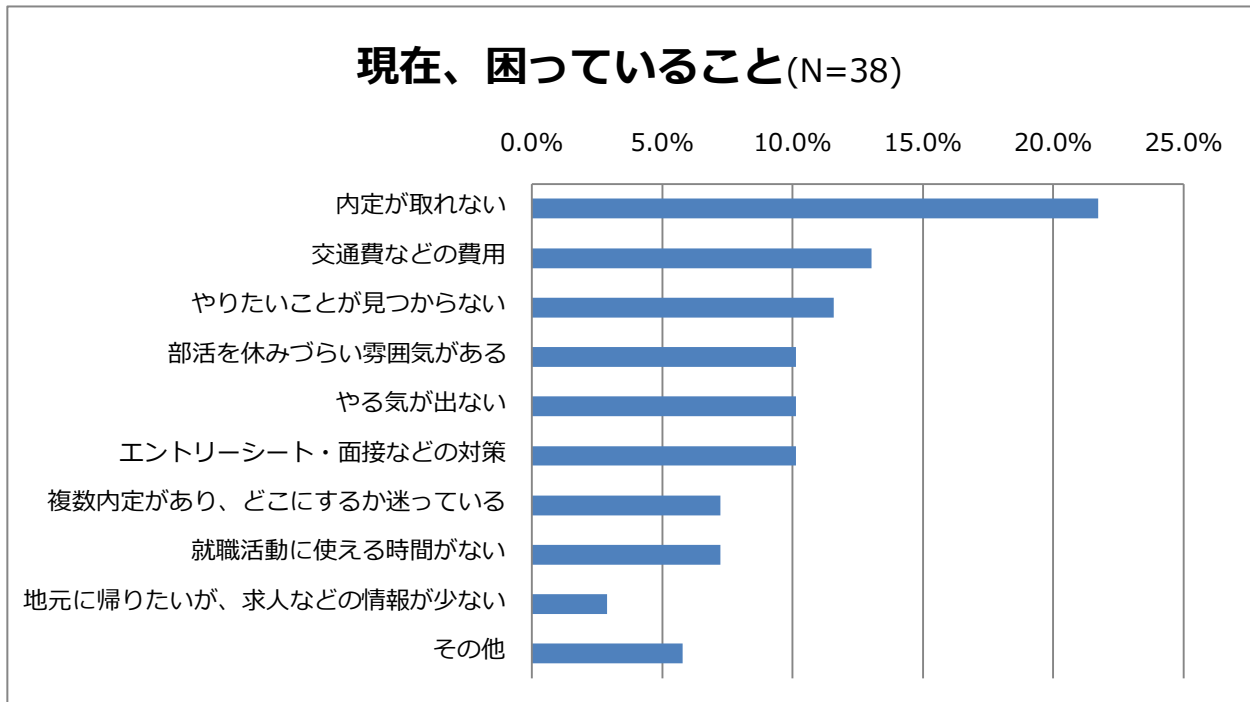
4.就職活動を終えたい時期は、学生によって異なる結果に

いつ頃までに就職活動を終えたいかという設問については、様々な回答が集まる結果となりました。「内定が取れ次第すぐにでも」が22%、「今から1ヶ月以内」が26%とやや高めになった一方、「納得できる就職先が見つかるまで」も26%となり、スピードを重視する学生と納得度を大切にしている学生が混在していることが読み取れます。



5.現在、困っていることは「内定が取れない」が22.2%でトップ

就職活動中の学生にとって、困っていることのトップは「内定が取れない」となりました。「やりたいことが見つからない」や「やる気が出ない」、「エントリーシート・面接などの対策」といった内容も、未内定状態につながっていると考えられます。一方、「交通費などの費用」や「部活を休みづらい雰囲気がある」など、環境面での課題も存在しているようです。



▼「その他」の詳細

- ・どの企業が自分に合っているかわからない。
- ・今やっているサッカーを続けようとしてるが、うまくいってない。
- ・今後の面接が大手(一般的に就職するのが難しい)企業ばかりで不安。だからといって、目指す就職先に妥協したくないという思いがある。
- ・内々定をいただいたが、誓約書の提出期限が早すぎて辞退せざるを得ないこと。